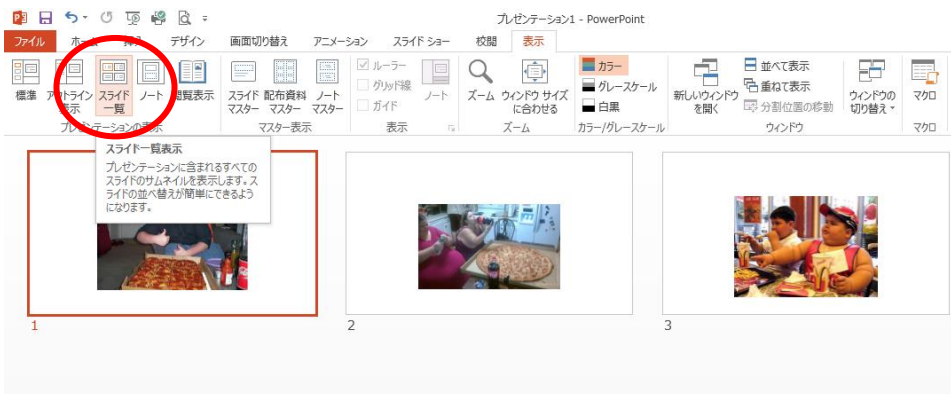


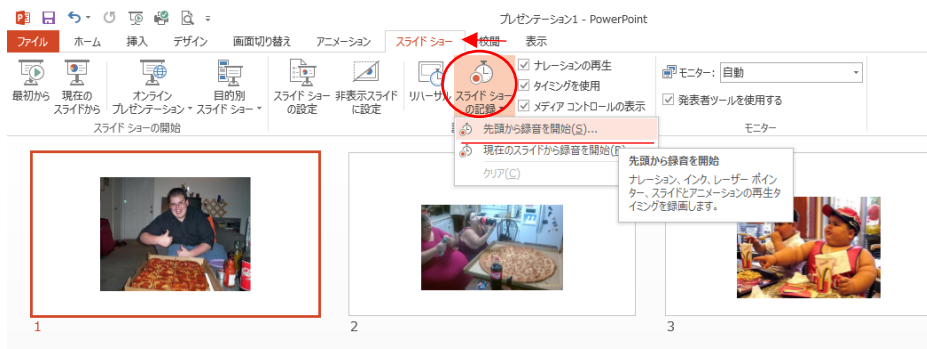
作成ソフト：パワーポイント 2013

素材：講義用スライド完成版ファイル

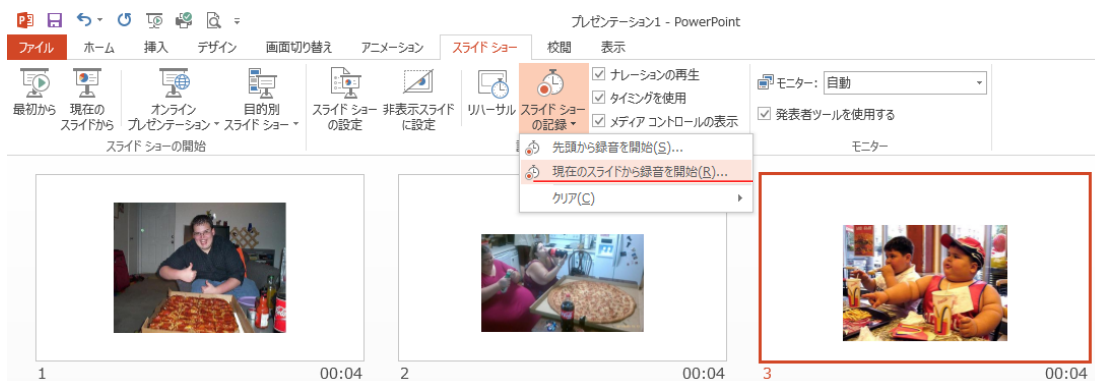
1. 完成版パワーポイントを開き表示タブにて「スライド一覧」で表示
表示につきましては任意で見慣れた標準やアウトラインでも大丈夫です。



2. スライドショータブ「スライドショーの記録」を先頭から開始
通常の講義同様説明を発声しながら吹き込みます



3. 最終スライドまで吹き込みが終わりましたら上書き保存します
なお、途中不意な雑音や説明音声の相違などでやり直したい場合はやり直したいスライドを指定した状態で再度スライドショーの記録から「現在のスライドから録音を開始」をすることで中途から吹き込み直しができます。



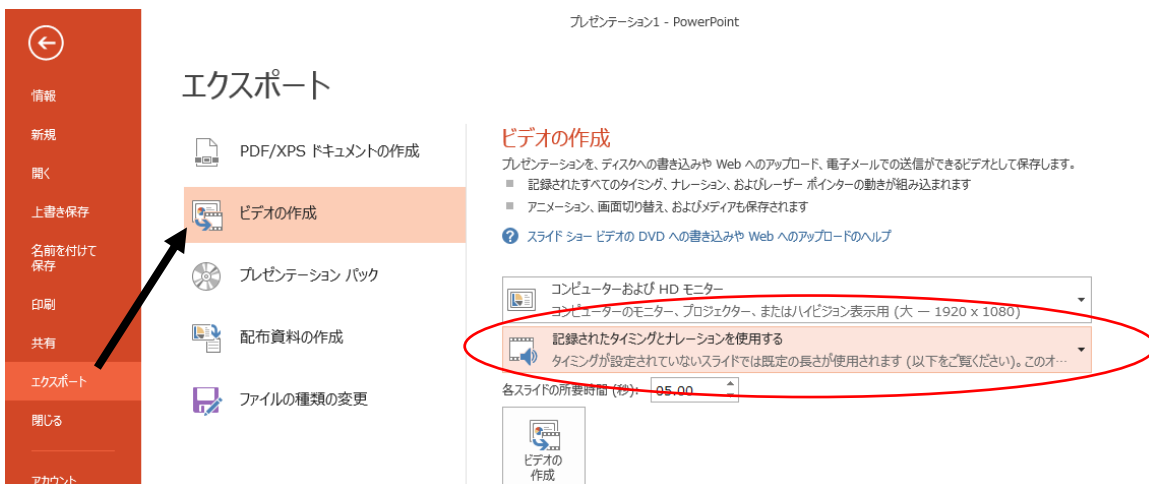
※指定したスライド以降の再編集となるためピンポイントのスライド編集はできません
再編集以降のスライドは全て吹き込み直しになります。

よく入ってしまう雑音の多くは紙資料を捲る音やマウスのクリック音とキー打ち音です、なるべく雑音を少なくすることで聞き取りやすいものが出来上がります。

上記を意識しながら最終スライドまで吹き込みが終わりましたら上書き保存をしてください
続いて「ファイル」のタブより『エクスポート』を行います



エクスポート画面より「ビデオの作成」へ進み『記録されたタイミングとナレーションを使用する』に設定された状態で動画へ出力（エクスポート）します。ファイルフォーマットはMP4推奨



動画へのエクスポート（抽出）は少々お時間がかかりますパワーポイント画面下段のタスクバーが出力ゲージ（白いバー）完了するまでお待ちください（容量にもよりますが10～40分）

以上でパワーポイントによるEラーニング講義用動画基本作成手順となります